

13.日向林道（神奈川県中部）

ここで紹介するコースは、日向薬師バス終点から日向川沿いに日かげ道の分岐点の橋まで進み、そこでUターンして薬師林道に入り、日向薬師・見晴台を經由して七沢温泉へ向かう多々良沢の分岐点を大竹沢沿いに下り自然保護センターに向かう全長5km弱の緩やかな上り下りのコースです。但し、コースの大部分が車道なので車には十分注意する必要があります。

バスを降りたら、田んぼや向かい側の木立に注意しましょう。スズメ・ハクセキレイ・ホオジロや時にはカルガモ・アオサギ・コサギ等が観察出来ます。バス停から来た道を50m程戻ると、仁正門経由で日向薬師に向かう参道がありますが、杉木立で登り勾配もきつく、鳥の出現もあまり期待出来ません。

道路に出て上流に進むと日向川に出ます。そこから200m程歩くと小さな橋があり、川沿いではカワガラス・カワセミ・キセキレイなどの水辺の鳥が観察出来ます。その橋を渡り向こう側の細い道を高橋迄歩く、行程約1kmの日かげ道もあるので、一度は歩くのも良いでしょう。

そこから引地まで戻り、いよいよ薬師林道に入ります。ここから薬師までは、ごく一般的な鳥が観察出来ます。メジロ・シジュウカラ・エナガの混群に会う事もあるし、ヤマガラやオナガの他カケスも観られます。冬はアオジやリビタキに会うことも出来ます。

日向薬師は建立716年で歴史も古く、幡かけ杉（宝城坊の二本

杉）があり、樹齢800年で足利基氏が幡をかけ、平和と幸せ五穀の豊かな実りを祈ったといえます。ここには重要文化財を収めた収蔵庫・本堂・鐘楼があり、本堂の板壁に無数の穴があり、ムササビの仕業だと言われています。参道の杉の木に散見される穴は、ムササビのねぐらになっています。

日向薬師から再び薬師林道に出て七沢温泉方面へ見晴台に向かうと、カラ類の混群や冬の時期はヒタキに会えるでしょう。夏はオオルリ・クロツグミが期待出来ます。見晴台では特に上空のノスリ・ハイタカ・オオタカ等のタカの出現に注意しましょう。過去にはウソやマヒワの群れやガンの編隊が北側の稜線を飛んだ事もあります。夏期はあまり期待出来ないが、春秋の渡りの時期は終日いても飽きない場所です。

昼食をとったら再び林道を七沢温泉方面へ、途中数箇所湧き水があり、夏場はのど



日向林道

コースタイム 4～5時間
 地形図：1:25,000 厚木 案内図：丹沢（昭文社）

季節

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

13.日向林道（神奈川県中部）

を潤すのに最適です。多々良の分岐点を順礼峠方面へ大竹沢を進みます。砂防ダムの草原では、カワラヒワ・ホオジロ・キセキレイ・カシラダカ等が観察出来ます。少し進むと下流から護岸工事が進みつつあり、鳥は余り期待出来ません。無名橋を右折し

て自然保護センターへ向います。

そこからリハビリセンターの池でカモの観察をして、バス停へ向います。

（上野宗弘）



観察できた鳥

アオグラ・アオジ・アオバト・アカゲラ・アマツバメ・イカル・イツツバメ・ウグイス・エナガ・オオタカ・オオルリ・オナガ・カケス・カワウ・カワラヒワ・キジ・キジバト・キセキレイ・キビタキ・クロツグミ・コグラ・コジュケイ・コマドリ・サシバ・シジュウカラ・シメ・スズメ・セグロセキレイ・センダイムシクイ・タヒバリ・チョウゲンボウ・ツグミ・ツバメ・トビ・トラツグミ・ノスリ・ハイタカ・ハクセキレイ・ハシブトガラス・ハシボソガラス・ハチクマ・ヒガラ・ヒヨドリ・ヒバリ・ヒメアマツバメ・ホオジロ・マヒワ・ミソサザイ・ムクドリ・メジロ・モズ・ヤブサメ・ヤマガラ

あし

- ・行き 小田急線伊勢原下車 神奈川中央交通バス 日向薬師行き終点下車
- ・帰り 神奈川中央交通バス 神奈川リハビリセンター 伊勢原/愛甲石田 /本厚木バスセンター/本厚木駅行き
- ・交通機関問い合わせ先：ページ 117 参照